

北見赤十字病院 がんサロン ほほえみ

ほほえみ通信 Vol 170

2024/4/10
発行

第170回 ほほえみ 開催

3月27日（水）第170回 ほほえみを開催しました。

今回は5名の方が参加してくれました。

参加に際しましては、感染予防対策のためマスクの着用と手指消毒のお願いをさせていただきますので、ご協力をお願い致します。

次回のほほえみは、4/17（水）14時から16時まで
本館3階 特別会議室での開催となりますのでご参加下さい。

【がんサロン事務局より】

『理想は、“がんサロン”がなくなること』

（がん体験記）

私自身、乳がんになって、この『がんサロン』に長年お世話になってきた。

「みんな同じ思い抱えているんだなあ」

「みんな同じ不安感じているんだなあ」と、ここに来ると安心できた。「独りじゃない」、そう思えた。

“仲間がいる”って、本当に心強い。

その不安はきっと、再発や治療の副作用、そして仕事のことや家族のこと……。がんになると、考えなければならないことが本当に多すぎる。

今ではがんは、「早期なら完治も可能」と言われる時代になった。でも再発するかしないかなんて、5年、10年、20年経ってみなければわからない。“治療が終わったから治った”と言えないのががんだ。

だからこうやって『がんサロン』がある。サロンに来て、不安や悩みを話して気持ちを楽しんで……。

本当にがんが完治する病なら、『がんサロン』はきっと必要ないのだと思う。

だから理想は、『がんサロン』がなくなること。

「がんは完治する病気になりました」という時代が来るのが希望。

風邪薬を飲むように簡単にがんが治ったら、きっとがんで苦しむ人もいなくなるのに——。

（北海道／女性／乳がん／がん患者本人）